

学術集会長挨拶

学術集会開催にあたり

日本エンドオブライフケア学会第5回学術集会

学術集会長

平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長)



このたび、日本エンドオブライフケア学会第5回学術集会をハイブリッド（会場とWEB）で開催いたします。すべての人にエンドオブライフケアの光が届く社会が来ることを願い、メインテーマを「人権としてのエンドオブライフケア ～ End of Life Care for All～」としました。先進国においては高齢化が進む中、適切なエンドオブライフケアの提供ニーズは急速に高まっています。亡くなる方の60%以上に緩和ケアが必要とされ、その3人に2人はがん以外の疾患と考えられています。日本も多死社会を迎え、エンドオブライフケア（EOL ケア）の中心は多疾患併存状態の超高齢者へとシフトしています。

本学術集会では、人権としての EOL ケア、非がん疾患の緩和ケア・エンドオブライフケアに関する様々なテーマの講演やシンポジウムを企画いたしました。日本型の Advance Care Planning (ACP) の在り方や地域包括ケア時代の EOL ケアの在り方、暮らしの中での看取り、日本人の死生観、進化生態医学と EOL ケア、スピリチュアルケア、食支援、日本人の死生観や宗教と EOL ケア、多様な住まいにおける EOL ケア、新型コロナ時代の EOL ケア、EOL ケアの研究など魅力的な講演やシンポジウムを準備しております。また、WEB による教育では学術的なコンテンツを充実させるとともに、会場企画としてその道のプロフェッショナルと語り合う Meet the expert 企画を予定しています。市民の皆様にもむけた市民公開講座、日頃 EOL ケアの困難な課題に真摯に向き合っている専門職への尊敬と感謝をこめた癒しのプログラムも用意しています。

本学術集会は4年ぶりの東京での開催になり、長いコロナ禍の中での久しぶりの会場開催となります。現地開催、WEB 開催それぞれの良さを最大限引き出し、多くの皆様に参加いただければ、多くの学びと交流が生まれるような学術集会となるよう準備していく所存です。

是非、第5回学術集会にご参加いただけますようお願い申し上げます。

東京の皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

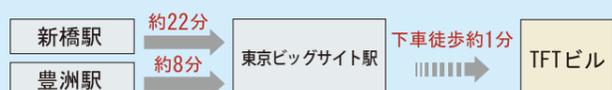
一般社団法人日本エンドオブライフケア学会は、医学、看護学、哲学、倫理学など「人間」を対象とする諸学問分野の知から学際的かつ総合的に学び、最期までその人らしい生き方と暮らしを支える医療や介護・ケアのあり方、そして福祉、社会システムの在り方について考え、議論する場として2016年に設立されました。当学会は、疾患を問わず、また、在宅、急性期病院、施設といった場を超えて、あらゆる専門職と市民がともに考え、学びあう場でありたいと願っています。

会場(TFTビル)交通案内

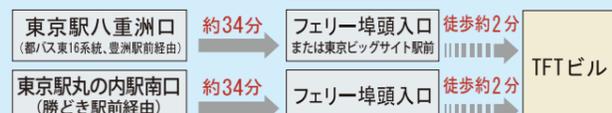
りんかい線



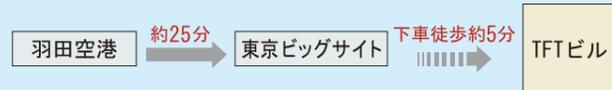
ゆりかもめ



バス

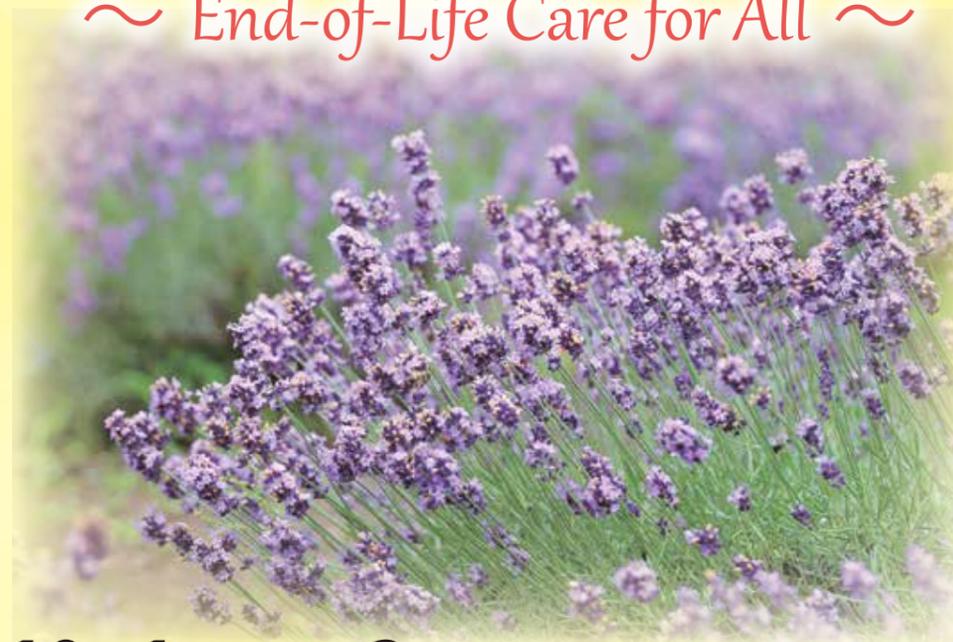


空港バス(リムジンバス・京浜急行バス)



日本エンドオブライフケア学会 第5回学術集会

人権としてのエンドオブライフケア ～ End-of-Life Care for All ～



2022年10月1日(土)・2日(日)

オンデマンド配信 2022年9月28日(水)～10月31日(月)

TFTビル 東館9階 (〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11)

学術集会長 平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長)

副学術集会長 島田 千穂 (佐久大学 人間福祉学部)

一般演題募集期間

2022年2月10日(木)～6月30日(木)

事前参加登録期間

2022年4月1日(金)～9月4日(日)

通常参加登録期間

2022年9月5日(月)～10月31日(月)

参加費

参加区分	事前参加登録		通常参加登録
	現地/Web	会員	8,000円 (抄録含む)
	非会員	9/4日まで 10,000円 (抄録含む)	11,000円

※「会場定員は500人です。現地参加は定員に達し次第、締め切らせていただきます

大会公式ホームページ▶ <https://procomu.jp/eolconf2022/>

株式会社プロコムインターナショナル

運営事務局

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階 TEL: 03-5520-8821 FAX: 03-5520-8820
E-mail: eol5@procom-i.jp

人権としてのエンドオブライフケア

～ End-of-Life Care for All ～

2022年10月1日(土)・2日(日)

オンデマンド配信

2022年9月28日(水)～10月31日(月)

TFTビル 東館9階

(〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11)

学術集会長講演

非がん疾患の EOL ケア
現在・過去・未来
平原佐斗司

プログラム(予定)

人権としての緩和ケア
非がん疾患の EOL ケア
の確立と普及にむけて

座長：平原佐斗司
荻野美恵子
演者：木村 利人
木澤 義之
鷺見 学

理事長講演(リレー講演)

日本 EOL ケア学会の歩みとこれから
島内 節、長江 弘子

メインシンポジウム

日本的な ACP のあり方・
意思表示と選択の支援

座長：長江 弘子
演者：西川 満則
坂井 志麻
片山 陽子

地域包括ケア時代の
EOL ケアのあり方

(日本在宅医療連合学会共同企画)

座長：平原佐斗司
蘆野 吉和
演者：金子 稚子
川越 正平
吉江 悟

スモールワークショップ (会場のみ)

Meet the expert (会場のみ)

特別講演

- 人権としての EOL ケア～ EOL Care for All
座長 秋山 正子 演者 柳田 邦男
- スピリチュアルケア
座長 長江 弘子 演者 田村 恵子
- 進化生態医学とエンドオブライフケア
座長 高橋 在也 演者 長谷川敏彦

シンポジウム

- 認知症の緩和ケアを推進するために
(認知症の緩和ケアに関する研究会 共同企画)
座長 桑田美代子 演者 遠矢純一郎、平原佐斗司
小川 朝生 鈴木みずえ、高井ゆかり
- 最期まで口から食べるを支援する
認知症の Comfort feeding の実践
座長 梶井 文子 演者 枝広あや子、千葉 由美
島田 千穂 広岡 由枝、西川 明美
- 腎不全の緩和ケアをどう進めるか
～ CKM ガイドの発表を受けて～
座長 杉浦 真 演者 三浦 靖彦、丹波嘉一郎
坂井 正弘 高井 奈美
- 多様な住まい(施設)での EOL ケア
座長 島田 千穂 演者 池崎 澄江、深堀 浩樹
池崎 澄江 石川 崇広、飯田貴映子

癒し企画

- 緩和ケアにおける音楽の活用
—終末期に届けるハーブと祈り：
音楽死生学についての講演と実践—
長谷川(間瀬) 恵美
- マインドフルネス
EOL ケアに関わる専門職へ
フォーク阿部まり子

指定講演

- 地域緩和ケア(日本在宅医療連合学会共同企画)
蘆野 吉和
- ACP 日本版の定義
宮下 淳
- 愛、暮らしの中の宗教、
～宗教と EOL ケア～
鍋島 直樹
- BPSD のプログラム
内田 陽子
- 生き逝く力
～看護に活かす進化生態医学～
平原 優美

教育講演

- EOL 研究法について研究をどうすすめて
いくか?
宮下 光令
- 認知症と環境について
山田 律子
- 超高齢者の EOL ケア
桑田美代子

公開講座(参加費無料)

市民公開シンポジウム
共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

- 暮らしの中の看取り
秋山 正子、宇都宮宏子、古屋 聡

市民公開講座

- 高齢者のこころ
黒川由紀子

市民公開講座 (WEB)

- 日本人の死生観
浅見 洋

シンポジウム

- 本人の思いを紡ぐ ACP
～地域・在宅、病院、施設～
座長 坂井 志麻 演者 宮本 芳恵、藤井 淳子
伊藤 真理 大城 京子、宇都宮宏子
- 日本人の死生観と宗教、地域への応用
宗教を EOL ケアの中にどう取り入れていけるか
座長 岡村 毅 演者 鍋島 直樹、佐々木教道、河野 秀一
足立 智孝 楠 恭信、岡村 毅
- COVID-19 関係 COVID-19 は EOL ケアに
どう問題を投げかけたか?
座長 高橋 在也 演者 鳥海 幸恵、津田 泰伸
原沢のぞみ 高橋 在也、柳澤 優子
- 「グリーフ」をとらえ直す新しいコミュニティの創出をめざして
座長 金子 稚子 演者 趙 愛玉、猪狩 僚、大橋 理宏
高橋 在也

WEB教育講演

- 1 認知症の方の苦痛の評価 高井ゆかり
- 2 終末期の呼吸困難に対する
緩和的リハビリテーション 中田 隆文
- 3 老衰を診る 今永 光彦
- 4 末期の肺炎の緩和ケア 平原佐斗司
- 5 非がん性呼吸器疾患の緩和ケア 平原佐斗司
- 6 苦痛としてとらえる BPSD 小川 朝生
- 7 ALS の緩和ケア 荻野美恵子
- 8 パーキンソン病の緩和ケア 荻野 裕
- 9 気道クリアランスの基礎と臨床
～痰・分泌物への看護～ 山北 利恵
- 10 脳卒中の緩和のケア 桑原 直行
- 11 悪液質を理解する 若林 秀隆
- 12 ACP の基本のき 西川 満則